

女性活躍 × ICT

女性 デジタル人材育成

シンポジウム

テーマ

～今、求められる女性デジタル人材～

今般、あらゆる場面でDXやICTとの共存が進む中、女性デジタル人材が強く求められています。また、SDGsでも女性活躍の推進は重要なテーマです。県内のジェンダー平等などに関する有識者や女性デジタル人材の活用にご意欲的な経営者の方、デジタルでキャリアを切り拓いて活躍されている方などを招き、女性活躍社会の推進に向けて皆さんと共に考えてまいります。

日時

2024年 2月18日

13:30～15:45 (13:00開場)

会場

会津大学 講義棟 大講義室

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀上居合90

PROGRAM

13:30～

主催者挨拶

東原 恒夫 学長 (会津大学 理事長・学長)

13:35～

基調講演①

「デジタル社会に求められる女性活躍」

西内 みなみ さん (桜の聖母短期大学 理事長・学長)

14:05～

基調講演②

「地域を支える中小企業の現状と課題～デジタル化社会に向けて～」

橋本 直子 さん (須賀川瓦斯株式会社 代表取締役社長)

14:25～

本学事業プレゼンテーション

「女性のためのITキャリアアップ塾」

田中 秀樹 教授 (会津大学 復興創生支援センター 教授)

14:45～

パネルディスカッション

「多様な働き方とデジタル人材」

佐藤 藍子 さん (福島トヨペット株式会社 代表取締役副社長)

田中 リナ さん (株式会社アクシス 事業推進部 文教サービス課)

大竹 真紀子 教授 (会津大学 宇宙情報科学研究センター 教授)

ファシリテーター

金子 恵美子 教授 (会津大学 学生部長・教授)

15:45

クロージング

WEBアンケートにご協力ください。アクセスはこちら

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=sYumV_rQE-r0bTkcd8Tx-SwICXZ191HhpzgQXPd5LhUqzZMWlowTzFBR1ozNORCQ1INMTUzQ1hGTS4u

女性活躍 x ICT 女性 デジタル人材育成 シンポジウム

PROFILE



西内 みなみ さん

桜の聖母短期大学
理事長・学長

東京大学大学院教育学研究博士課程満期退学、2016年より現職。福島県地域創生・人口減少対策有識者会議委員や子ども・子育て会議会長、福島市都市計画審議会委員などを歴任・兼任。



橋本 直子 さん

須賀川瓦斯株式会社
代表取締役社長

須賀川市出身。大学在学中に渡英、約8年間ロンドンで生活。ロンドン大学UCLにて修士号取得後、英国ルイ・ヴィトン社勤務。2011年の東日本大震災を機に須賀川瓦斯(株)入社。取締役副社長を経て18年より現職。



佐藤 藍子 さん

福島トヨペット株式会社
代表取締役副社長

福島トヨペット(株)入社以来、組織開発に取り組み、「一人ひとりの強みを活かし、最高のチームとしてお客様や地域に価値を提供すること」を目標に、風土改革や社員共育を推進。2019年6月より現職。



田中 リナ さん

株式会社アクシス
事業推進部 文教サービス課

2022年に、「会津大学女性のためのITキャリアアップ塾」プログラマ基礎コースを修了、2023年3月から現職。教育現場におけるICTの導入。活用支援を担当。

田中 秀樹 復興創生支援センター 教授

東京大学大学院工学系研究科(修士課程)を修了後、経済産業省特許庁に入庁。特許審査官として、電話通信・マンマシンインタフェース・検索装置・電子商取引等に関する審査業務及び審判業務に従事。併せて、調整課審査基準室にて特許審査基準に関する運用の策定等、また、独立行政法人工業所有権情報・研修館にて産業財産権制度に関する啓発・普及活動等に従事。弁理士試験委員(2021年)。2022年7月から現職。復興創生支援センター教授として、産学官連携やデジタル人材育成等に従事。

大竹 真紀子 宇宙情報科学研究センター 教授

2007年に打ち上げられた日本初の大型月探査機「かぐや」に搭載されたマルチバンドイメージャ(MI)の開発に従事し、MIにより取得した月面分光画像データの処理による月面の地質解析を実施している。2020年3月より会津大学に赴任し、AIによる地球を含む表面画を用いた地質図の作成アルゴリズムの開発、将来の月火星探査用ローバの走行試験設備の準備や、同設備を核に宇宙を含む極限環境ロボットの開発拠点構築を目指す「月火星箱庭構想」に関連する研究を行っている。

金子 恵美子 学生部長・教授

1999年より株式会社アルクに勤務。英語スピーキングテストStandard Speaking Test(SST)の主任評価官としてテストの品質管理に従事。その後、電話で行うTSSTの開発を主導する。それらの経験を活かし、2005年にウイスコンシン大学ミルウォーキー校の博士課程に進学し、2008年博士号取得。2008年に会津大学語学研究センターに准教授として着任。2015年より教授。2020年度より学生部長を兼任し現在に至る。